

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. A-39

部門名：
カリキュラム・マネジメント実践部門

エントリー名：
熊本市立西原中学校

活動名：
主タイトル(12 文字以内) 学校が好き、授業が好きだ
副タイトル(16 文字以内) ～V P D C A サイクルによる学校改善～
※どのような課題をどのような手法で解決したのか、わかりやすく伝える案件名を記入してください。

解決すべき課題：

- ①ここ数年来の本校の状況について、不登校生徒の増加、低学力は解消していない。
- ②生徒に行きたくなるような「学校が好き」だと思える教育活動及び学校運営を構築する必要性がある。
- ③生徒が受けたいくなるような「授業が好き」だと思える魅力的な授業改善を実現する必要性がある。

目標・方針：※課題を解決するためにどんなストーリーやシナリオを構想して、活動内容を組み立てたのか、記載してください。

- ①本校の実態に基づき、実効性のある目標設定を行うために生徒・保護者・教職員間において実態調査を行い(図 1)「育成すべき資質・能力」(図 2)を共有し、目的とするビジョンを設定する(図 3)。
- ②コミュニケーション能力を育成し、自己肯定感や自己有用感を高める新たな教育活動を創設する。
- ③「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学ぼうとする力」を育成するための授業改善を行う。(図 4)

活動内容：※目標・方針に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください

- 育成すべき資質・能力を育成するために、授業改善を柱として以下の活動を行った。
- ①コミュニケーション能力育成のための表現交流活動「おがたまタイム」を週 1 回全校一斉の時間に実施する。
 - ②「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、学びの過程に「学び合い」を取り入れた本校独自の授業づくりのポイントを設定し、全校生徒の 3 分の 1 にあたるタブレット等を中心とした ICT の利活用を行う。
 - ③定期的な実態調査を行い、P D C A サイクルによる教育活動、学校運営の評価・改善を図る。

活動の成果：※課題設定に対して、どんな影響、変化あったか、参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

- この 2 年間で、「学校が好き」だと答えた生徒数が伸びてきた。(図 5)
- ①毎週水曜日、朝 15 分間全校一斉「おがたまタイム」を実施した結果、教師が「子どもと向き合う時間」が確保されるとともに、教師も生徒も楽しみにした時間となり、生徒の自己肯定感が高まった。(図 6)
 - ②めあてづくりの工夫や振り返りによる「深い学び」を実現する授業改善やタブレット等の I C T 機器の利活用を促進した「学び合い」による学ぶ過程を重視した授業づくりの結果、自己有用感が高まった。(図 7)
 - ③定期的な実態調査による P D C A サイクルを確立したことで、教師も自分の授業を客観的に分析できるようになり、西原中の授業ポイントのほとんどが改善された。また、「45 分授業が定例化している」声を、週日課表の変更に反映したことで、授業改善のハード面の環境整備を整えることができた。(図 8)
- ◎次年度の課題として、行事や集会、会議等の廃止・縮減について、具体的な声が上がった。

アピールポイント(アイディアや工夫)：※3～5 つ程度、箇条書きしてください

- 「皿を割れ」、「三方良し」の考え方を教育活動や学校運営に具体化！
- ①生徒、保護者、教職員にとって実践の実効性が上がるように「育成すべき資質・能力」を共有化した。
 - ②分かりやすいビジョンを設定し、目的に即した教育活動、学校運営の改善を図った。
 - ③時間割の変更や時間のカットを実行し、形骸化した教育活動を見直す視点を教職員が持つことができた。
 - ④西原中独自の实態調査項目を設定したことによる教育活動の実際について「見える化」を図れた。

図 1【生徒・保護者・教職員に対する意識調査】

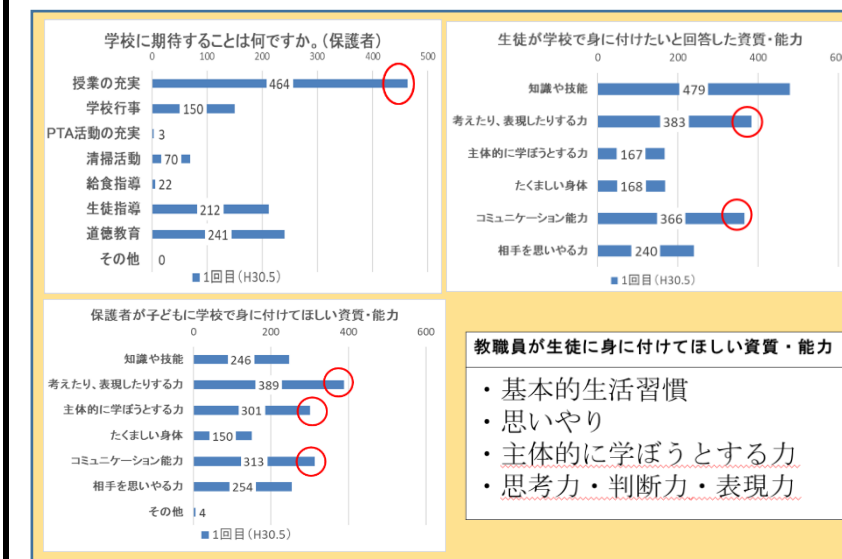


図 2

共有化した育成すべき資質・能力

思考力・判断力・表現力
コミュニケーション能力
主体的に学ぼうとする力

おがたまタイムの様子



図 3【ビジョンの設定】

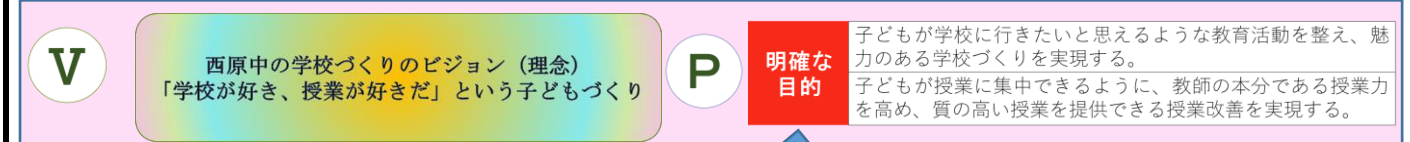


図 4【授業改善】



PDCA サイクルによる評価

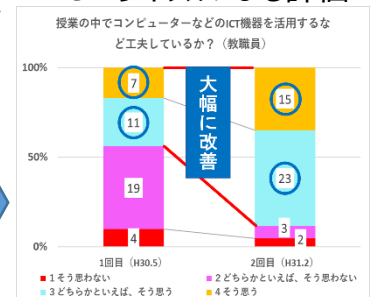
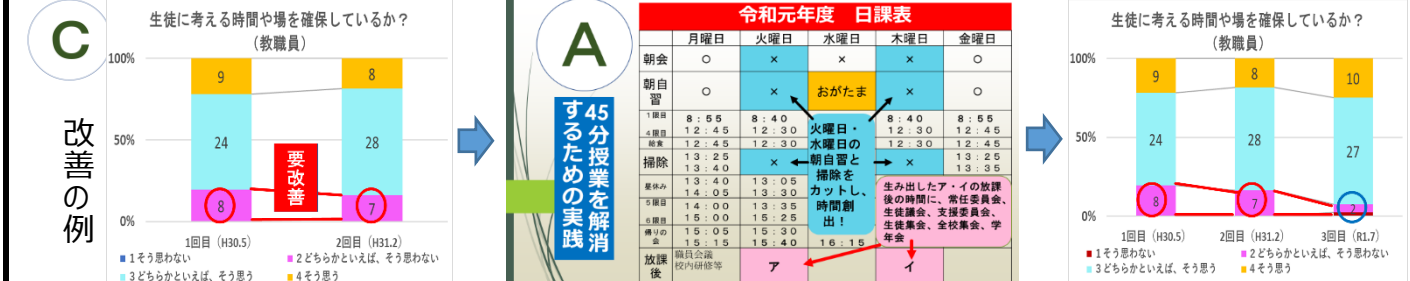


図 8



活動の成果

図 5

図 6

図 7

